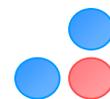


組合員アクティブ・メンバーシップ による「協同の力」の発揮



～ 食と農を基軸に「地域になくてはならないJAづくり」のために ～

JA人づくり研究会
「第30回研究会」
平成30年5月16日(水)



～未来につなぐ、確かな絆～

京都丹の国農業協同組合
代表理事専務 迫沼 満寿

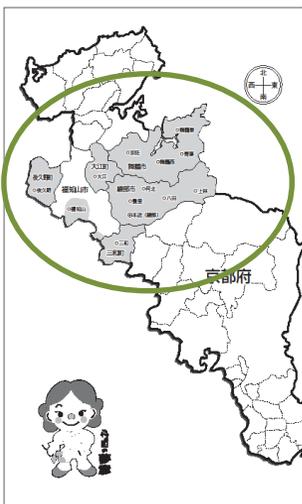


～組合員と共有・評価・改善～

地域の概況

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都 **にのくに**



管内の概況

人口(推計)	134,585人
世帯数	57,534世帯
総農家数	6,445戸
経営耕地面積	3,509 ha
特産物	米、万願寺甘とう、小豆、紫ずきん、茶、他



福知山市は、下豊富・中六人部地区
及び三和町、夜久野町、大江町の区域です。

京の伝統野菜「万願寺甘とう」
イメージキャラクター「あまとくん」



「万願寺甘とう」
登録番号第37号



組 織	
本・支店数	本店／ 1室・3部 …農機センター、茶業センター、葬祭センター、農産物直売所「彩菜館」 支店／ 13支店 … 3 広域営農経済センター
組合員組織	女性部、青壮年部、年金友の会、生産者部会 (51 部会)
総 代 数	611 名(内女性 100 名) …地域枠、女性枠、青壮年部枠、生産者部会枠を設定
役 員 数	25 名(内、常勤 5 名、女性役員 3 名) …地域枠、実務精通枠、女性部枠、担い手枠を設定
歩 み	<p>9年9月 中丹管内8総合JAと1専門JAが合併。39支店・10営農センター・3出張所・19連絡所体制でスタート</p> <p>14年度～ 支店・施設の統廃合を順次実施し、18年4月より現在の13支店体制に至る</p> <p>18年12月 農産物直売所「彩菜館」舞鶴店を開店。以降、綾部、福知山、東舞鶴に開設し現在4店舗</p> <p>20年4月 市域エリアでの弾力的な事業戦略の実践のため、「統括支店」体制がスタート</p> <p>25年4月 暮らしの活動統括推進本部機能の発揮の為、企画管理部に「暮らしの活動推進課」を設置</p> <p>25年10月 支店選出の非常勤理事が主宰する「支店活動活性化委員会」を設置し活動開始</p> <p>28年7月 自己改革プランの策定に向け、職員で構成する「組織・経営改革推進プロジェクト」を発足</p> <p>29年1月 優良農地の保全と担い手育成支援のため、JA出資型農業生産法人「アグリサポート夢」を設立</p> <p>30年4月 市域に「広域営農経済センター」を設置し、営農指導員の集中配置による出向く指導体制を構築</p>

単位：千円

項 目		平成29年度
財 務	経 常 利 益	355,300
	純 資 産	9,391,772
	単体自己資本比率	16.88%
庶 務	職 員 数	334人
	うち常用的臨時雇用者	73人

項 目		平成29年度
信用事業	貯 金 残 高	150,040,142
	貸 出 金 残 高	33,572,362
共済事業	長期共済保有高	590,008,415
購買事業	購買品供給高	2,421,200
販売事業	販売品取扱高	2,189,548

組合員構造の変化と対応

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

農業従事者の
高齢化

コア正組合
員のリタイヤ

組合員の
世代交代

組合員構造
の多様化

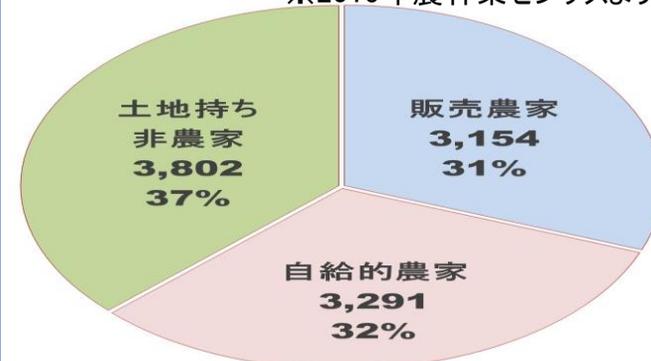
帰属・参画
意識の低下

多様な組合員
のメンバー意識
の醸成



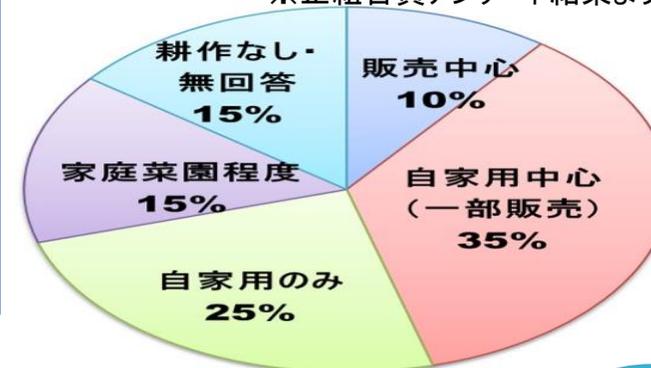
◆わがJA管内の農家・非農家数

※2015年農林業センサスより



◆正組合員の農業との関わり

※正組合員アンケート結果より



食と農を基軸にした“地域になくてもならないJAづくり”のために

●地域農業の活性化

《「地域農業戦略」の実践》

特産物の育成、担い手の育成、農地の保全、販売力の強化、資材コストの低減、地産地消の拡大

●組織基盤の拡充

《「組織基盤戦略」の実践》

組合員加入の促進、組合員組織の活性化、運営参画の促進、協同組合学習、JAポイントサービスの普及、准組合員の参画

●支店を核にした協同活動の展開 《「地域暮らし戦略」の実践》

生活・文化・健康増進、高齢者生活支援、相談活動、食農教育、地域貢献、情報発信、「支店活動活性化委員会」の定着化

●総合力を発揮した事業展開 《「戦略的事業伸長方策」の実践》

横断的な事業活動、組合員情報の共有、親切・丁寧・迅速な対応、全戸訪問・アフターフォロー活動の徹底

●地域・組合員からの信頼獲得

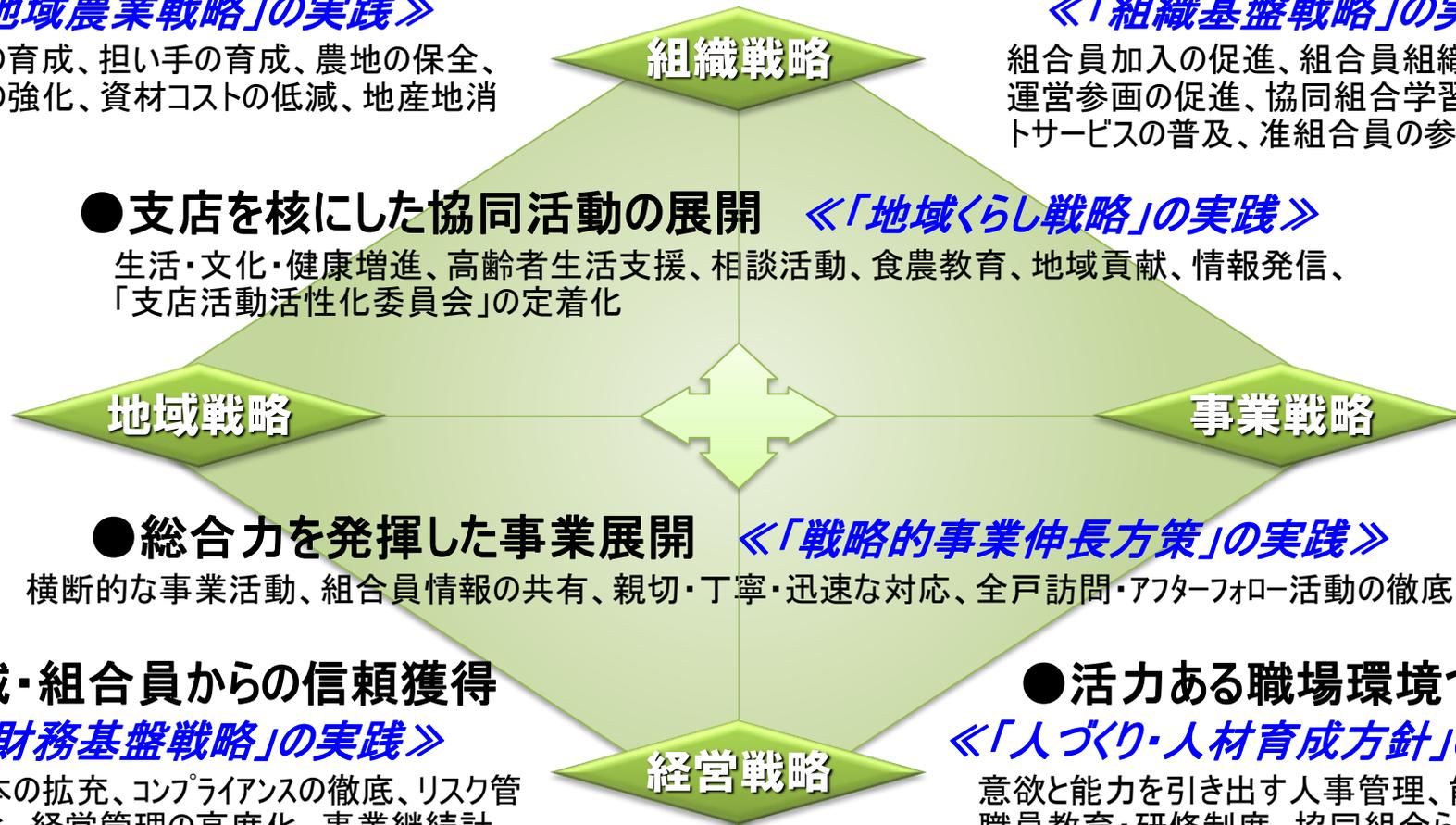
《「財務基盤戦略」の実践》

自己資本の拡充、コンプライアンスの徹底、リスク管理の強化、経営管理の高度化、事業継続計画の検証、部門収支の改善、内部統制の整備

●活力ある職場環境づくり

《「人づくり・人材育成方針」の実践》

意欲と能力を引き出す人事管理、能力を高める職員教育・研修制度、協同組合らしい人づくり、活力ある職場作り



アンケート調査から見える組合員意識

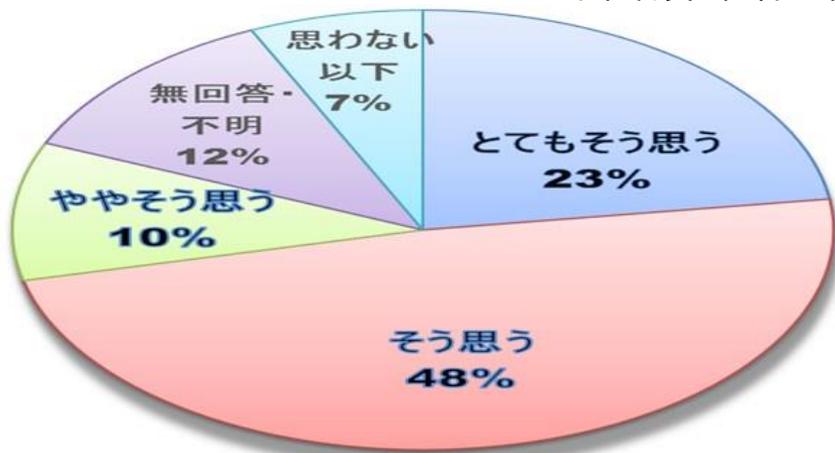
～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

- ◆ 80%を超える組合員が、JAは「農業・地域にとって必要な組織」だと思っている
- ◆ 組合員はJAに対し、地域に根ざした組織として、総合事業によるサポートを望んでいる
- ◆ 農業(生産者)と地域社会(消費者・利用者)が、連携・共存する組織形態を望んでいる

Q JAは農業・地域にとって必要な組織か

※正・准組合員の回答比率



Q 良いと思うJA組織の特徴は

※複数回答、正・准組合員合計



Q JAの構成員はどうあるべきか ⇒ ①農業者と住民利用者【41%】、②農業者と農業応援者【20%】

Q JAの組織目的はどうあるべきか ⇒ ①農業振興を主として地域住民のくらしの向上【51%】

Q 総代・理事の選出方法は ⇒ ①生産者組織・女性など幅広い組織から【総代選出45%】【理事選出43%】

※正組合員の回答比率

【組合員アンケート】 ※平成27年3月、JA京都にのくに第6次3か年計画(28~30年度)策定に向けて実施

- ◆ 実施方法／無作為に抽出しアンケート用紙の郵送により依頼・郵送回収
- ◆ 対象者数／2,000人 …正組合員1,400人、准組合員600人
- ◆ 有効回収(回収率)／993人(49.6%) …正組合員768人(54.8%)、准組合員225人(37.5%)

◇組合員メンバーシップ強化へ施策の展開

組合員メンバーシップの強化(関係深化)

成果目標

重要成功要因

重点施策

取組施策・組織など

理念共有

学びの
場づくり

○○○

- 総代研修会
- 組合員セミナー
- ※「にのくに未来塾」
- 「にのくに次代塾」
- 役員研修会
- 役員(管理職)大会

活動参加

集まる
場づくり

○○○

- 女性部・女性大学
- 青壮年部・生産者部会
- 年金友の会
- ※農業塾「野菜の学校」
- 彩菜館・食農教育
- 「くらしの活動」の展開

事業利用

複合利用への
誘導・拡充

○○○

- JAポイントサービス
- 農産物応援定期貯金
- 年金友の会員への「彩菜館」割引
- 「さいさい＊クラブ」

意思反映

届ける
場づくり

○○○

- 支店運営・営農委員会
- 准組合員総代
- 総代等懇談会
- 営農(集落)座談会
- 組織役員との懇談会
- 訪問日・渉外活動

運営参画

叶える
場づくり

○○○

- 女性総代・理事
- 担い手総代・理事
- 生産者組織委員会
- 支店活動活性化委員会

多彩なキツカケによる組合員への加入

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに



農産物直売所「彩菜館」を通じた地産地消運動



親子の農業体験「農ふれあい教室」を通じた食農教育



農業塾「野菜の学校」を通じた担い手の育成



女性大学を通じた出会いと生きがいづくり

叶える場づくりによるメンバーシップの強化

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

担い手からの総代や理事の登用など 多様な組合員の運営参画を実現

総代

- ◆ 19年度「女性部枠」の設置と選出枠の拡大
- ◆ 25年度「担い手枠(生産者部会・青壮年部)」の設置、さらに拡大に向け選出組織基盤の強化
- ◆ 各支店の「地域枠」の選出方法の見直し

役員

- ◆ 28.6月 青壮年部・生産者部会から2名の「担い手理事」を選出
- ◆ 28.7月 担い手理事が主宰し、生産者組織の代表で構成する「生産者組織委員会」の設置
- ◆ 改正農協法(理事構成)対応を見据えた、支店「地域枠」の選出方法の見直し

支店を核に組合員を主体に協同活動の実践 ～非常勤理事の役割発揮～

25.10月「支店活動活性化委員会」を設置

- ◆ 活動の主体をJA主導から、組合員との「協働」へ
- ◆ 地元理事のリーダーシップ発揮 ⇒ 管内組織の連携・調整機能 ⇒ 理事を通じた組合員の意思反映

女性パワーの発揮による組織の活性化と 運営参画による自主・自立意識の醸成

- ◆ 正組合員／ 女性割合**30%**を維持・拡大
- ◆ 総代／ 女性割合**15%(92名)**以上を実現
- ◆ 役員／ 支店「地域枠」推薦による登用拡大
- ◆ 組合員組織／ 生産者部会などに対し、女性の加入や委員・役員等の登用への働きかけ

【女性参画の状況】 ※29年4月1日現在 JA全中調査結果より

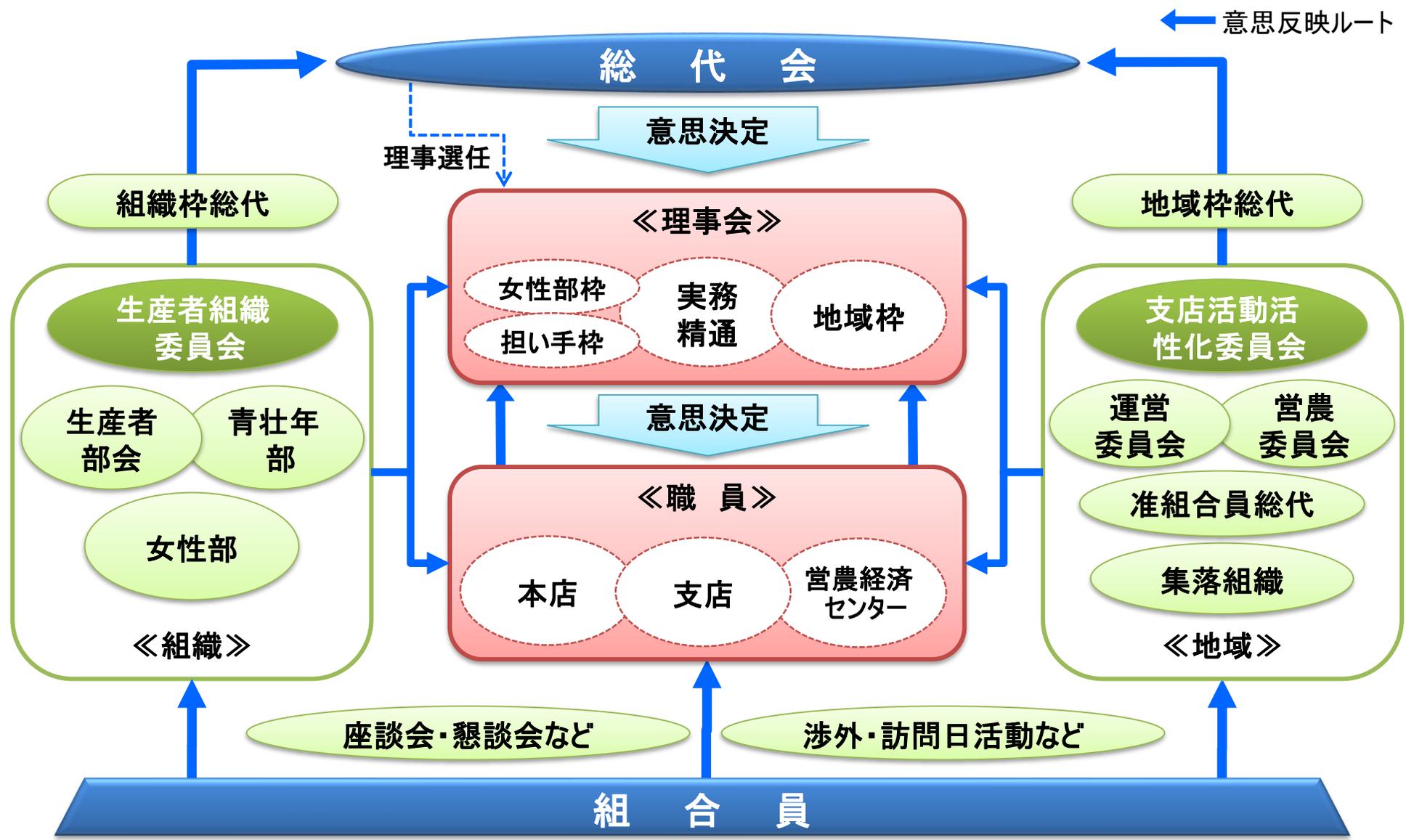
	正組合員	総代	役員
	女性比率	女性比率	女性比率
全国	21.5%	8.4%	7.4%
京都府	21.3%	7.7%	6.9%
わがJA 30年3月末	32.9%	16.3%	12.5%

准組合員をJA運動のパートナーとして 農・食への理解と意思反映を実現

27.5月「准組合員総代」を委嘱

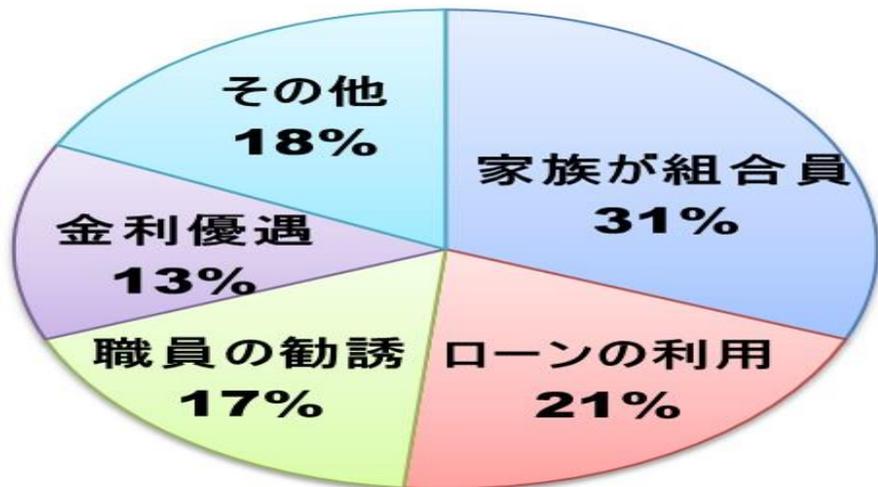
事業・活動への参加 → 協同組合学習・組織化 → 意思反映の場づくり → 共益権のあり方

届ける場づくりによるメンバーシップの強化

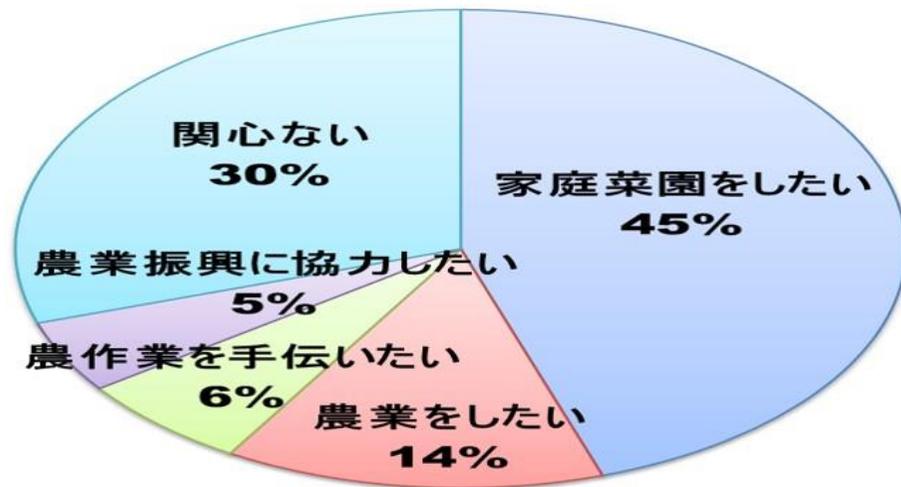


◇わがJAの准組合員の実態

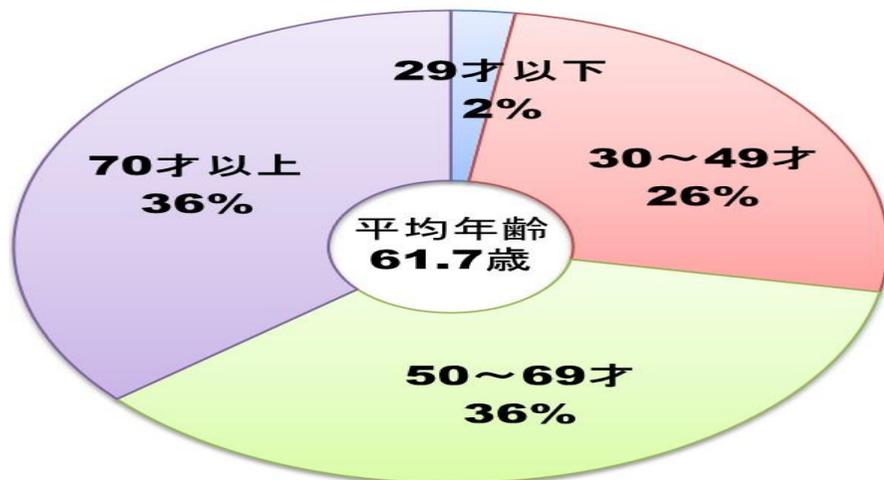
◆准組合員への加入のキッカケ ※准組合員アンケート結果より



◆准組合員の「農」への関心 ※准組合員アンケート結果より



◆准組合員の年齢構成



◆正組合員から准組合員・地域住民への期待

※正組合員アンケート結果より、複数回答あり



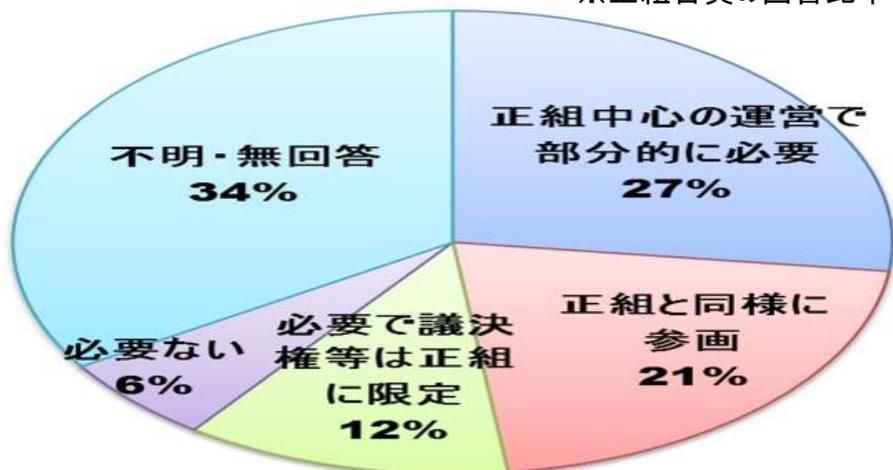
食・農による准組合員メンバーシップの強化

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

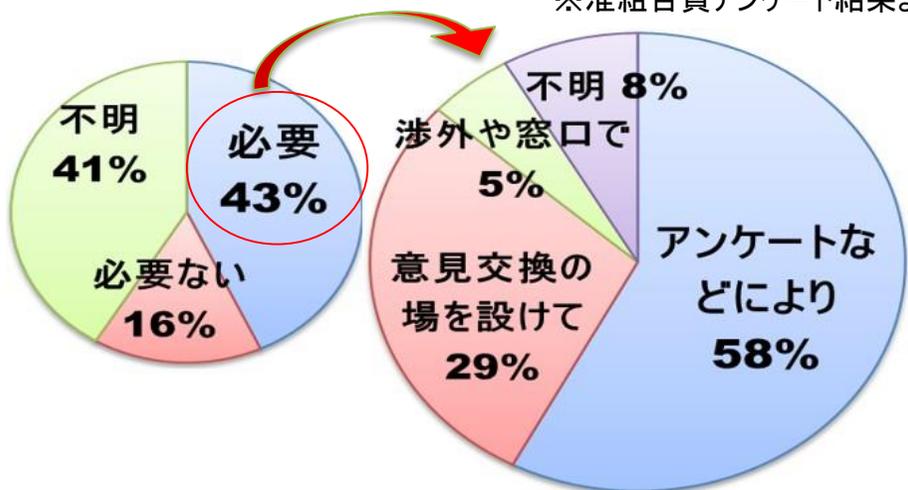
◆准組合員の運営参画について

※正組合員の回答比率



◆JAへの意思反映の必要性と方法

※准組合員アンケート結果より



食と農の「応援者」と、
JA運動の「パートナー」に向けて

JA・協同組合運動への理解

広報活動

訪問活動

准組合員の集い

JA事業の利用拡大

ポイントサービス

農業応援定期

優遇措置

支店協同活動・組合員組織活動への参加

年金友の会・女性部

組合員講座

農業塾・食育

JAへの意思反映・運営参画

活性化委員会

准組合員総代

理事登用

「准組合員総代」を委嘱し、
意見・要望をJA運営に反映

「准組合員総代」制度の設置と役割

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都 **にのくに**

准組合員を、地域の農業振興や経済の活性化に取り組むJA運動のパートナーとして位置づけ、協同組合運動への理解とJAの事業運営への意思反映を進める

「准組合員総代」の設置を定款に規定

選出

- ◆ 定数**65**名、うち女性**22**名 (**34%**)
- ◆ 准組合員戸数の**1%**基準で支店配分
- ◆ 任期 / **3**年 (**28**年**4**月改選)

～JA運動への理解と参画を深める～

「准組合員総代研修会」

JA京都 **にのくに**

准組合員総代研修会



【研修会の参加者アンケートから】

- JAの役割をもっと理解し、積極的に活動に参加したい
- 准組合員の利用規制に反対、一定の権利付与も必要
- 過疎・高齢化の地域では、JAの存在や協同の力が重要

「准組合員総代」の目的と役割

食・農の応援者から、コアなパートナーへ

JAを知る

- ◆ 地区別総代等懇談会などへの出席
- ◆ 総代研修会、組合員講座などへの参加
- ◆ 「日本農業新聞」「家の光」などの購読

活動に参加

- ◆ 組織・支店協同活動などのへの参画
- ◆ 新たな講座・サークル活動などの企画
- ◆ JA事業の幅広い利用拡大

意思反映

- ◆ 議決権はないものの、JA運動の理解者として、総代会に出席し要望・意見をJA運営に反映

准組合員の「食・農の応援者」への取り組み

農産物直売所「彩菜館」 消費者組織の設置 「さいさい*くらぶ」 農応援コース

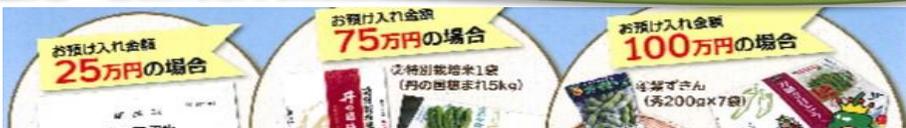
管内特産物を指定住所に年3回送付(総額1万円相当)!



「さいさい*くらぶ」キッズコース 食農教育がキョラム



地元の農産物応援定期貯金の募集



准組合員など「営農支援サポーター」登録制度の設立

新春座談会

～食・農を通じた准組合員との関係強化へ～
「30年新春座談会」生産者Vs消費者



- 生産者も消費者も食と農に対する思いは一緒
- 地産地消の拠点「彩菜館」から広がるつながり
- JAが生産者と消費者との懸け橋になるために

J Aは、基本的に農家である「正組合員」のための協同組合である。ただし、貯金や生活必需品の供給などのJAの事業は、地域住民にとっても必要不可欠であるため、農家でなくてもJA事業を利用できる「准組合員」の制度が設けられている。

正組合員と准組合員との間にも大きな違いは、JAの経営方針などを決める総(代)会での議決権や、JAの役員選挙に参加できるかどうか、という点にある。つまり、准組合員はJAの運営には参加できない。しかし、農家が減少しているいま、



JAグループ京都
准組合員がいてこそ
農業を守れる

○地域ぐるみで農地などの環境を守る
協力体制は、昔も今も変わらさず
○正・准組合員を問わず共に発展していく
道筋を考えるべき



農家でなくてもJAの事業を利用できる「准組合員」。JAの運営方針の決定には関わることができないが、JAグループ京都は今年の春、「准組合員総代」制度をつくり、准組合員の運営参画を推進している。十月の第二十七回JA全国大会では、正・准を問わず組合員の積極的なJA運営への参画を強化する「組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立」を決議したが、それに先駆けるJAを訪ねた。

家の光2015.12月号記事より

◇集まる場づくりによるメンバーシップの強化

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けた、JAくらしの活動の分類と事例

組合員組織育成・強化活動

- 組合員組織の活性化と、新たな利用者組織の構築
- 協同組合学習の強化（組合員講座・女性大学）
- 准組合員の運営参画、等

生活・文化・健康増進活動

- JA健康寿命100歳プロジェクトの実践
- お手玉遊びなど軽スポーツの普及
- 会員型旅行の企画
- 日本型食生活の普及、等

高齢者生活支援活動

- 高齢者見守り活動の展開
- 助け合い組織の拡充・強化
- 買い物弱者に向けた対応強化
- くらしの宅配便の普及、等

くらしの相談活動

- 休日相談の充実
- 「農地まもり隊」など農地保全と相談活動
- 後継者育成活動の強化
- 情報提供による理解促進、等

食農教育活動

- 「農ふれあい教室」の拡充
- 農畜産物消費拡大運動の展開
- 体験農園の開設
- 家庭菜園など講習会の開催、等



地域行事への積極的な参加

地域作り活動

- 地域防犯活動
- 交通安全啓発
- 地域環境保全・美化活動
- 子育て支援活動
- 社会貢献活動の展開、等



「青色防犯パトロール隊」の運行



移動購買車「むつみ号」の運行

支店協同活動における理事の役割発揮

支店を「核」に組合員を主体にした協同活動の展開 ……支店の活性化と理事の意識改革

JAからの一方的な
活動提起から

地域・組織の課題
やニーズを踏まえ

組合員との
協働で企画・実践

選出理事の役割・
リーダーシップの発揮

組合員が主体の「※支店活動活性化委員会」
の設置と役割発揮

委員会を中心に『身近な所で、身近な仲間と、
小さな協同活動』の企画・実践

- ◆目的／ 地域ニーズや組合員組織の課題の共有を通じ、支店活動の活性化に向けた諸施策の企画・推進
- ◆主宰／ 地元非常勤理事(委員長)が主宰し開催
- ◆委員／ 地元理事、総代、運営・営農委員、女性部など組合員組織から若干名
- ◆役割・機能／ **地域 ⇄ 「委員会」 ⇄ 理事会**
 - 支店協同活動「くらしの活動」の企画・実践
 - 集落・組合員組織や支店などの目的・課題の共有
 - 支店活動年間行動計画の策定と実践
 - 支店活動活性化に向けた懇談会の開催、など
 - 理事・総代の選考や組合員組織のリーダーなどの後継者の育成機能



農業祭・感謝祭など支店まつりの開催(各支店)



～支店活動活性化委員会委員研修会～
「支店協同活動推進大会」の開催

支店で取り組む主な活動

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都 **にのくに**

支店名		活動内容	※ゴシック文字は支店活動活性化委員会が主催
綾部地区	上 林	ゴルフコンペの開催、農業教室の開催、餅つき大会の開催、支店まつり・農業祭の開催、小学校活動展示	
	綾 部	ふれあいバザーの開催、来店感謝デーの実施、葉牡丹栽培教室の開催、青色防犯パトロールの実施	
	豊 里	ふれあいサロン「たこらだ」の運営、グラウンドゴルフ大会の開催、「うめ梅まつり」への参加、支店まつりの開催	
	何 北	ゴルフコンペの開催、支店まつりの開催、グラウンドゴルフ大会の開催、親子の田植え・稲刈り交流会の開催	
	八 田	農産物直売所の運営、小学校活動行事の展示、山菜まつりへの参加	
	統一活動	支店別懇談会の開催、地域行事への参加、「旅倶楽部」会員旅行の実施、消防団協力事業所、店周美化	
福知山地区	福 知 山	支店まつりの開催、農業祭の開催、児童登校時の交通安全指導の実施	
	三 和	生産者視察旅行の開催、集落営農推進大会の開催、野菜市感謝祭の開催、笑顔の写真展の設置	
	夜 久 野	グラウンドゴルフ大会の開催、支店まつりの開催、秋の収穫祭の開催	
	大 江	店周美化「フラワーガーデン」の設置、支店まつりの開催、地域夏祭りへの参加、棚田体験イベントへの参加	
	統一活動	支店別懇談会の開催、婚活イベントの開催、地域行事への参加、「旅倶楽部」会員旅行の実施、店周美化	
舞鶴地区	加 佐	支店活動掲示板の設置、万願寺まつりへの出店、地域特産物栽培教室の開催、年末市の開催	
	舞 鶴 西	支店まつりの開催、舞鶴赤レンガハーフマラソンへの参加、緑のカーテンの設置	
	青 葉	支店「ふれ愛サロン」での絵画・写真の展示、支店まつりの開催、「彩菜館」海軍カレーイベントの参加	
	舞 鶴 東	野菜作り講座「舞・ベジータ」の運営、支店まつりの開催、ゴルフコンペの開催	
	統一活動	支店別懇談会の開催、地域行事への参加、「旅倶楽部」会員旅行の実施、消防団協力事業所、店周美化	

女性の活躍支援によるメンバーシップの強化

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

女性部活動を通じ、組合員と地域住民の“出会いと生きがい”づくり

- ◆家の光の記事活用など、生活教室を中心とした「支部活動」…文化祭・発表会の開催、広報誌の発行
- ◆くらしに密着した多彩な「サークル活動」の展開による、組織の活性化や部員の拡大
- ◆伝統食の承継や地産地消・食農教育の拠点として、農産物加工所「夢ちゃん工房」の運営
- ◆健康寿命100歳プロジェクトとして、「お手玉大会」「ウォーキング大会」「グラウンドゴルフ大会」の開催
- ◆高齢者への生活支援を目的として、助け合い組織「にのくに安心倶楽部」の活動
- ◆女性の視点でJAに要望や提案をつなげる、「女性総代研修会」や「JA常勤役員との懇談会」の開催
- ◆社会貢献活動として、お手玉遊びによる学校・福祉施設慰問、お米一握り運動、東北復興支援物品購入



「女性部本部役員とJA常勤役員との懇談会」



「東北復興支援活動」



～農産物加工の拠点～
女性部「夢ちゃん工房」



女性部活動の核となる支部・サークル活動

◇学びの場づくりによるメンバーシップの強化

多様な学びの場づくりと情報発信による、情報・課題・目標の共有を通じた理念の浸透

多様な総代・理事の登用(地域・組織の支持)

母体組織の活性化、ニーズの反映

組織のリーダー・後継者の育成

情報・課題・目標の共有

協同組合理念の浸透

多様な学びの場づくり

広報・情報発信の取組み

広報誌 「夢彦ふれあいだより」	毎月第2土曜日の「一斉訪問日」で正・准組合員宅へ配布
地域コミュニティ誌 「ふれ愛」	年2回新聞折り込みで管内全戸へ配布
支店・営農経済センターだより	毎月支店・センターが独自作成し「一斉訪問日」で配布
ホームページ・Fb・Ig	ブログ・組合員組織の情報サイト
JAガイドブック	組合員加入時のJA案内資材

～総代の役割と参画意識を高める～
「総代研修会」「女性総代研修会」



～協同・組織活動を通じた
豊かな農業・地域・くらしの実現～
「組合員メンバーシップ強化実践セミナー」



対象先毎の多彩な活動・学びの場づくり

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都 **にのくに**

組合員 対象	<ul style="list-style-type: none">◆JA運動のリーダー育成／ 組合員講座「にのくに未来塾」、「新春座談会」◆農業の担い手育成／ 農業塾「野菜の学校」 ※農業経営塾、農業塾専門校◆役割・使命の認識／ 「総代研修会」「女性総代研修会」「准組合員総代研修会」◆JA運動への理解／ 加入時のガイドブック活用 ※准組合員へのJA基礎講座・研修会
女性層 対象	<ul style="list-style-type: none">◆女性リーダーの育成／ 女性大学「フレッシュミズ・カレッジ」「プラチナ・カレッジ」◆出会いと生きがいつくり／ 女性部の家の光記事活用講座「生活教室」「サークル活動」
職員 対象	<ul style="list-style-type: none">◆次世代の人づくり／ 職員講座「にのくに次代塾」、「地域特産物への理解学習」◆中核的な人材育成／ 「JAグループ京都未来塾」「修了生フォローアップ研修会」◆意思統一・課題認識／ 「役職員大会」「管理職大会」「くらしの活動キックオフ大会」◆協同組合人への意識改革／ 地域・団体行事への参画、農業体験研修
地域住 民対象	<ul style="list-style-type: none">◆食農教育・農業体験／ 「さいさい*くらぶ」キッズコース、「農ふれあい教室」◆食・農・JA運動への理解と生きがいつくり／ ※年金友の会「趣味・教養講座」

※は検討中のもの

JA運動のリーダーとサポーターの育成に向けた 協同組合理念学習の実践

組合員講座「にのくに未来塾」

- ◆目的／ JAの存在価値や組合員意識の醸成とJA運動を担う次世代リーダーの育成
- ◆期間／ 【第3期】29年6月～31年2月
- ◆対象／ 組合員組織及び支店長の推薦による、満20才以上の組合員
- ◆カリキュラム／ 2年間にわたり基礎講座と専門講座を年5回、10講座を受講
- ◆講師／ JA役職員、組合員組織、系統機関、外部講師 など



職員講座「にのくに次代塾」

- ◆目的／ 理念や協同組合運動の意義を理解し、日常業務で実践するJA職員の育成
- ◆期間／ 毎年10月に開講し年間5回の講座
- ◆対象／ 所属長が推薦する入組5年以上の係長級以下の職員で、自己啓発に意欲のある者
- ◆カリキュラム／ 毎回テーマに沿った「講義」「グループ討議」「レポート提出」、修了レポート・プレゼン
- ◆講師／ 役員、室部長、「コア人材育成研修会」修了生、系統機関、など



組合員メンバーシップは職員の意識改革から

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

運動者意識を育む「人づくり」と、マネジメント能力を高める「人材育成」

組合員と共に学ぶ
協同組合理念
(組織愛・帰属意識)



組合員との協同活動を通じた
協働者意識
(行動・意識改革)



時代の変革に対応する
戦略的マネジメント機能
(革新力・柔軟性)



理念浸透と意識・行動は相関関係 ⇒ 理念の浸透者はJA・職場・仕事に対する意識も高い

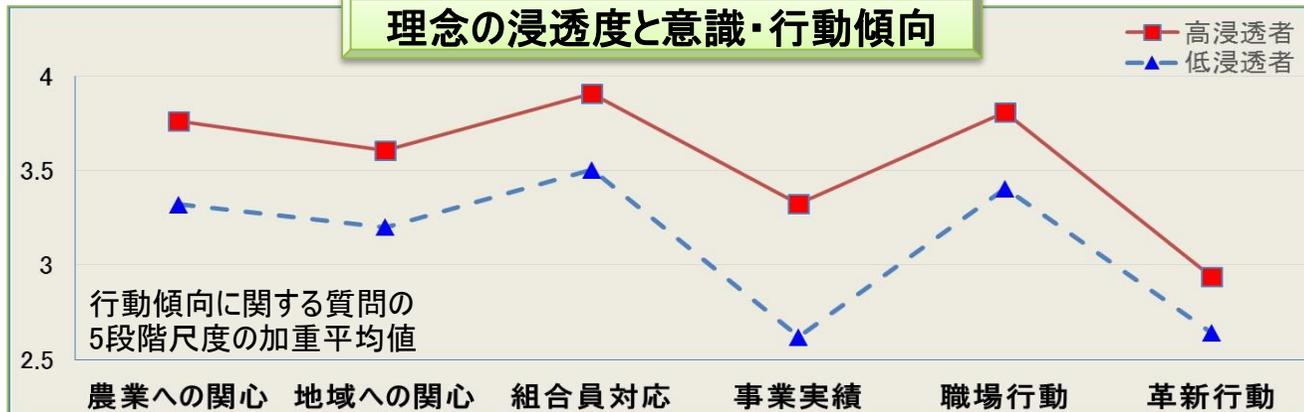
職員アンケート調査の実施

理念の印象や日頃の意識
(浸透度分析)

役立つ研修・機関紙
(浸透要因分析)

JA・職場・仕事への姿勢
(行動傾向分析)

理念の浸透度と意識・行動傾向



※27年11月JC総研 JA京都にのくに「職員の意識と行動にかかるアンケート調査」より

◇共有・評価・改善による自己改革の実践

～未来につなぐ、確かな絆～

JA京都にのくに

新たな未来図を描く JA京都にのくに ステージアップ戦略 の実践
時代の変革に対応し協同組合としての役割発揮 ～未来につなぐ、確かな絆～

組合員メンバーシップ

支店を核に組合員が主体の協同活動の展開と、
地域住民・准組合員との新たな協同の仲間づくり

人づくり・人材育成

JA運動の実践を通じ共感から得る働きがいと、
時代の変化に対応するマネジメント機能の発揮

経営管理の高度化

行動計画を起点に理念の実現へストーリー化と、
進捗管理・改善による行動・意識改革

目に見える自己改革

これまでの取り組みを組合員と共有・評価・改善と、
期待と環境変化を踏まえた組織・経営改革

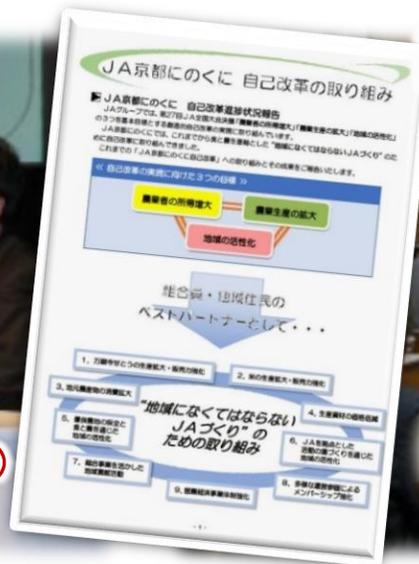
～組合員の期待に応える自己改革の実践～
「28年度総代研修会」《パネルディスカッション》

《課題提起》

～営農経済事業の強化に向けた課題と実践～

《意見表明》

- ・ 生産者が主体となった組織活動の展開(青壮年部)
- ・ 彩葉館を核とした地域の活性化(彩葉館運営協)
- ・ 地域・担い手支援による農業振興(担い手農家)



～自己改革の取り組みの共有・評価・改善～
「支店活動活性化懇談会」「生産振興大会」など



今まさに「協同の危機」「協同組合の危機」

乗り越える力となる 組合員のアクティブ・メンバーシップ ～協同の力の発揮～

規制・制度改革の波、地域・農業・事業・収益など環境の変化

問われる 自らの帰属意識・存在価値、社会への認知度

必要なのは 理念学習、運営参画、組合員協同活動

乗り越える力となる 組合員の組織力、結集力

職員の運動者としての 意識改革と行動改革

理念学習を通じた「人間力」と「社会性」の醸成

役員の高い想いと高い理想、明確な姿勢と適切な判断

～ 食と農を基軸に「地域になくてはならないJAづくり」のために ～